

○事業所名	でいさーびす あいりんご8		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 30日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	季節ごとのイベントや、法人内事業所との合同活動、会社全体で行う大型イベントなどを実施しており、日常とは異なる体験の機会を提供できている点が強みであると考えています	毎月職員会議を実施し、活動内容の見直しや共有を行うことで、より分かりやすく楽しめる活動となるよう工夫しています。また、普段は実施していない活動も取り入れながら、利用者様にとって新しい経験や生活への自信につながるよう取り組んでいます。	活動内容がより多様化していく中で、職員一人ひとりのスキル向上にも取り組み、事業所全体としてさらに充実した活動を提供できるよう努めています。
2	当事業所では、利用者様や保護者様のニーズを大切にし、一人ひとりに合わせた柔軟な支援を行っています。 また、あらかじめ決められた内容だけではなく、その日の利用者様の体調や気持ち、特性などに配慮しながら、安心して過ごせる環境づくりと適切な支援の提供に努めています。	活動内容がより多様化していく中で、職員一人ひとりのスキル向上にも取り組み、事業所全体としてさらに充実した活動を提供できるよう努めています。	今後も利用者様の特性やその日の状況に応じた支援が行えるよう、職員間での情報共有や活動内容の振り返りを継続していきます。また、保護者様との連携をより深め、家庭や学校での様子も踏まえながら、より適切な支援や環境づくりにつなげていきます。
3	家庭環境にも配慮しながら、保護者様や利用者様の意見をしっかりと受け止めた支援を心掛けています。 また、事業所内での対応に限らず、状況やニーズに応じて医療機関や短期入所など、必要な支援サービスにつなげることができる体制づくりを行っています。	日々の支援の中で保護者様とのコミュニケーションを大切にし、意見や要望を丁寧に把握するよう努めています。 さらに、職員間での情報共有を行い、家庭環境や利用者様の状況に応じた支援が行えるよう検討し、必要に応じて関係機関とも連携しながら適切な支援につなげています。	今後も利用者様や保護者様のニーズをより的確に把握できるよう、職員間での情報共有や支援内容の振り返りを継続していきます。また、関係機関との連携もさらに深め、利用者様やご家庭の状況に応じた支援やサービスの提供体制の充実を図っていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員それぞれの経験や知識の違いにより、支援の方法や関わり方に差が生じてしまう可能性がある点が課題の一つであると考えています。	職員ごとにこれまでの経験や知識が異なることから、利用者様への支援方法や対応の仕方個人差が出てしまう場合があります。また、支援方法や関わり方について十分な共有ができていない場合には、支援の統一が難しくなることも要因の一つであると考えています。	職員間での情報共有や支援内容の振り返りを行い、利用者様への関わり方や支援方法について共通理解を深めていきます。また、研修や勉強会の機会を設け、職員全体の知識や支援スキルの向上を図ることで、支援の質の均一化につなげていきます。
2	地域の児童館や児童クラブなど、地域の方々との交流の機会を十分に設けることができていない点も課題の一つであると考えています。	日々の支援活動を優先する中で、地域の施設や団体と交流する機会を計画的に設けることが難しく、地域との関係づくりが十分に進められていないことが要因の一つと考えています。	今後は近隣の児童館や児童クラブなどの地域機関とのつながりを意識し、交流の機会を少しずつ増やしていくことを検討しています。行事や活動を通じた交流や情報交換の機会を設けることで、地域との連携を深め、利用者様の社会経験の幅を広げていきたいと考えています。
3	保護者会や父母会など、保護者同士が交流し、子育ての悩みや日常の様子について情報共有できる機会を十分に設けられていない点も課題の一つであると考えています。	日々の送迎対応や個別相談を優先する中で、保護者同士が交流できる機会を計画的に設けることが難しく、情報交換や意見交換の場が不足していることが要因と考えています。	今後は保護者同士が気軽に相談や交流ができる機会の設定について検討していきます。父母会や交流会などの開催方法を工夫しながら、保護者同士が家庭での様子や悩みを共有できる場を作り、保護者支援の充実につなげていきたいと考えています。

事業所名	ていさーびす あいりんこ8
------	---------------

公表日 令和8年 3月 30日

利用児童数 3

回収数 2

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	活動スペースが十分に確保されており、子どもたちがのびのびと過ごせている。	特になし
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	50%	0%	0%	50%	適切な職員配置がされており、安心して子どもを任せることができる。	特になし
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	構造化された環境で、子どもにも分かりやすい工夫がされている。	特になし
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こどもの活動に合わせた空間となっていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	清潔で心地よい環境が保たれており、安心して過ごせる。	特になし
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	子どもの特性を理解した専門的な支援が行われている。	特になし
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	50%	0%	0%	50%	支援プログラムと実際の支援内容が一致しており、信頼できる。	特になし
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	ニーズに基づいた個別支援計画が丁寧に作成されている。	特になし
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	ガイドラインに基づいた適切な支援内容が設定されている。	特になし
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	50%	0%	0%	50%	計画に沿った支援が継続的に行われている。	特になし
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	活動内容に工夫があり、子どもが楽しみながら参加できている。	特になし
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	0%	0%	50%	50%	地域や保育所等との交流機会は少ない。	地域交流の機会を増やし、社会経験を広げるよう支援していく。
保護者への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	100%	0%	0%	0%	利用時の説明が丁寧で分かりやすい。	特になし
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	50%	0%	0%	50%	支援内容について分かりやすく説明されている。	特になし
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	0%	0%	50%	50%	家族支援の機会が少ないと感じる。	研修や情報提供の機会を増やし、参加しやすい環境を整える。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	日々の様子が共有されており、安心感がある。	特になし
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	100%	0%	0%	0%	相談しやすい環境が整っている。	特になし
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	職員が丁寧に関わっており、安心して任せられる。	特になし
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	0%	0%	0%	100%	保護者同士の交流機会が少ないと感じる。	交流会やイベントを企画し、保護者同士のつながりを支援する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	100%	0%	0%	0%	不安なことなど聞いてもらうことも多い。	特になし
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	コミュニケーションをしっかりとってもらっている。	特になし
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	100%	0%	0%	0%	インスタをよく見ている。	特になし
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	適切に管理できていると思う。	特になし
23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	50%	0%	0%	50%	避難訓練等の実施がある	特になし	

非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	0%	0%	0%	100%	避難訓練等の実施がある	特になし
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	50%	0%	0%	50%	安全面にも配慮されている。	特になし
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	100%	0%	0%	0%	細かなところまで密に連絡をしてもらっている。	特になし
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	100%	0%	0%	0%	安心して通所できていると思います。	今後も利用者が安心して過ごせる場所が提供できるよう努力してまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%	0%	0%	0%	通所を楽しみにしていると思います。	特になし
	29	事業所の支援に満足していますか。	100%	0%	0%	0%	全体的に満足しています。	特になし

事業所名		ていさーびす あいりんご8		公表日		R8年 3月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	利用人数に応じて活動活動スペースを柔軟に区切り落 ち着いて過ごせる環境を整えている	特になし。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	利用児の特性や当日の状況を踏まえて役割分担を明確 にし必要に応じて柔軟に配置変更をすることで安全確 保と丁寧な支援に努めている。	特になし。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、 事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上 の配慮が適切になされているか。	100%	0%	活動ごとにスペースや視覚支援を活用し、見通しが特 定環境設定を行っている。	特になし。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達 の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	日々の清掃・消毒を徹底するとともに活動内容に応じ た空間設定を行っている。	特になし。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境に なっているか。	100%	0%	気持ちの整理やクールダウンが必要な際には個別のス ペースを活用できるよう配慮している。	複数の児童が個室スペースを同時に使おうとすると足 らないときもある。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が 参画しているか。	100%	0%	定期的な会議や振り返りを通して職員間で情報共有を 行い、支援内容の見直しと改善に全職員で取り組ん でいる。	特になし。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、そ の内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	保護者向け評価表を実施し、結果を職員間で共有し、 分析した上で支援や運営の見直しに反映している。	特になし。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげ ているか。	100%	0%	定期的に職員と面談を行い現状の把握と共に改善に繋 がる意見を出し合える機会を設けている。	特になし。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	100%	0%	今後の実施を検討している。	今後行う必要がある。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を 開催する機会が確保されているか。	100%	0%	法人内外の研修情報を共有し計画的に受講する機会を 設けている	特になし。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	年間計画や支援プログラムを作成し、保護者へ周知す るとともに定期的に内容を見直している。	公表されているかはわからない。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや 課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	個々の子どもの発達状況やニーズを踏まえアセスメン トを行い、保護者との面談を通して支援計画を作成し ている。	特になし。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こ どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検 討が行われているか。	100%	0%	支援に関わる職員全員でケース検討を行い、子どもの 最善の利益を第一に考えた支援計画を作成している。	特になし。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	作成した計画は職員間で共有し、日々の申し送りや振 り返りを通して支援の方向性を確認している。	特になし。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセ スメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用す る等により確認しているか。	80%	20%	標準化されたツールを用いて行動観察や記録を行い客 観的な視点で支援の見直しを行っている。	ツールを使用したアセスメントはできていないと思 うので今後使用していく。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供す べき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地 域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が 適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	児童発達支援ガイドラインを踏まえ、家族支援、移行 支援、地域支援の視点を取り入れながら、個々の発達 段階やニーズに応じた具体的で実践的な支援内容を設 定している。	特になし。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	活動プログラムは職員間で意見交換を行いながら立案 し、多角的な視点を取り入れている。	特になし。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	80%	20%	子どもの興味関心や発達段階を踏まえ、活動内容や空 間設定を見直しながら柔軟に活動を行っている。	特になし。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支 援計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	個々の目標や特性に応じて個別活動と集団活動を組み 合わせた支援を行っている。	特になし。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われる支援の内容や役割 分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	支援開始前には必ず打ち合わせを行い、活動内容や役割 分担を確認してチームで支援を行っている。	特になし。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせを行い、その日行われた支援の振り返 りを行い、気付いた点等を共有しているか。	80%	20%	支援終了後には振り返りを行い、子どもの様子や良か った点、課題を共有し次回の支援に活かしている。	特になし。	

関係機関や保護者との連携	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	日々の記録を具体的に残し、職員間で共有することで支援方法の改善に繋げている。	特になし。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	定期的にモニタリングを実施し、目標達成状況を確認し必要に応じて支援計画の見直しを行っている。	特になし。
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	関係機関との会議や情報共有を行い、子どもの状況に応じた支援を行っている。	特になし。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	医療、保健、教育機関等と連携し必要に応じて情報共有や支援調整を行っている。	把握ができていないので今後しっかりと把握して体制を整えたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	就学先や関係機関と支援内容の情報共有を行い、円滑な移行支援ができるよう努めている。	出来ていない部分は今後取り組んでいきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	就学や進学時には学校と情報共有の機会を設け、支援が継続できるよう連携している。	取り組めていない部分を今後取り組む必要がある。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0%	100%	研修の機会は設けることが出来ている。	特になし。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	20%	80%	日々の連絡帳や送迎時に子どもの様子を具体的に共有している。	機会が少ないため今後増やしていきたい。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	日々の連絡帳や送迎時に子どもの様子を具体的に共有し、課題について保護者と共通理解を図っている。	特になし。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%	家族の方が参加する研修は少ないように感じる。	職員の研修は随時行えているため今後取り組んでいきたい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	契約時に運営規程や支援内容、利用者負担について丁寧に説明している。	特になし。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	計画作成時に保護者の意向を確認し、子どもの最善の利益を優先した支援設定を行っている。	特になし。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%	支援計画を分かりやすく説明し理解と同意を得た上で支援を行っている。	特になし。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	定期的に面談や相談対応を行い迅速に対応している。	特になし。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%	そういった機会が特になかった。	保護者会などの機会を今後作っていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	苦情や相談に関しては適切に対応している。自分で判断できないことについては管理者や会社の指示を仰ぐようにしている。	特になし。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	連絡帳やSNSを用いて情報発信を行っている	特になし。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報の取り扱いに留意している。	特になし。
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	分かりやすい言葉や書面で情報共有している。必要に応じて個別に説明している。	特になし。	

	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	60%	40%	年に1度大きなイベントを行い交流を図っている。	特になし。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	各種マニュアルを策定し職員や家族へ周知している。緊急時対応が可能となる体制を整えている。	ご家族様への周知を今後もしていきたいと思う。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	BCPを策定し定期的に避難訓練、防災訓練を実施している。	行えていない訓練も今後取り入れていけたらと思う。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	利用開始時に既往歴や服薬状況を確認している。	特になし。
	48	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	契約時に教えてもらい対応している。医師の診断書なども控えをいただいて把握するようにしている。	特になし。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	安全計画を策定し定期的に見直し研修や点検を実施している。	特になし。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	支援内容をご家族様に周知させていただいている。	特になし。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	100%	0%	ヒヤリハットを作成・共有し原因の分析を行い具体的な再発防止策を検討している。	特になし。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	虐待防止研修を定期的に行い職員の意識向上を図っている。	特になし。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	身体拘束については事前に説明し同意を得た上で最小限の実施としている。書面にて内容を明記している。	特になし。